

J-STAGE(<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)は、日本国内の科学技術情報関係の電子ジャーナルの発行を支援するシステムです。1999年に独立行政法人科学技術振興機構(=JST)が、投稿から公開までの一貫した流れをインターネット上に構築し、科学技術系の情報の発信と流通の迅速化と国際化を図ることを目的として開発されました。公開されている論文は、書誌事項および抄録をHTMLで、全文をPDFで閲覧出来ます。2007年11月末現在、ジャーナル440誌、予稿集・要旨集111誌、報告書10誌、JST報告書42誌を提供しています。

多くの文献は無料公開で、世界中誰でもどこからでも自由にアクセスでき、有料公開は学協会の購読者ID認証方式となります。PubMedやChemPort(米国化学会とChemical Abstracts Service(CAS)が共同で提供している文献リンクサービス)、CrossRef(mm31号参照)等、海外の電子ジャーナルサイトと連携し、海外の文献・書誌・抄録へもリンク可能となっています。

検索方法については、雑誌名の頭文字で調べる「ジャーナル」、資料種別や機関名から調べる「資料(報告書・予稿集)・機関別一覧検索」、雑誌名の一部から調べる「誌名検索」、J-Stage内収録雑誌の横断検索ができる「記事検索」、複数の検索条件を組み合わせで検索できる「詳細検索」の5つのパターンが可能です。また、初めにユーザー登録(無料)し、論文検索式や結果の登録、雑誌の最新記事をメールで配信が受けられる「My J-STAGE」というサービスもあります。さらに、2007年9月からJ-STAGEに収録されている論文が、他の論文から引用された場合にメールでそのことを通知するサービス「被引用アラートサービス」の利用も可能になりました。引用文献画面からの引用リンクと、後続記事から引用されている文献についての被引用文献リンク可能の便利な機能もあります。他にも、冊子体では提供できない動画、音声、高精細写真などが論文の電子付録として閲覧できます。

また、J-STAGEのアーカイブサイトである「Journal@rchive」は、国内の学協会の学術雑誌の国際発信力をさらに強化させ、日本の知的財産の保存を目的とし、日本学術会議や関連機関で構成される委員会の調査結果を基に、学協会から提供された文献を電子化し公開しているものです。

岩手医大で今年1月から10月の期間でJ-STAGEの利用平均は、13-4件とあまり多くありませんが、今回の紹介を機に是非皆さんのブックマークに追加してみてもはいかがでしょうか。

図書館トリビア

国立国会図書館はこのほど、デジタルアーカイブポータル「PORTA」(<http://porta.ndl.go.jp/portal/dt>)を公開しました。各種機関と広く協力し、利用者がワンストップで電子情報資源を適切に利用できる総合的ポータルサイトの構築を目的としており、同館所蔵の貴重書や古書を始め約800万件の多岐に渡るデータが提供されています。従来のキーワード検索に加え、連想検索、分類検索なども可能となっています。また、ユーザー登録することにより、画面のデザインや配置、ブックマーク設定などのパーソナライズ機能を利用できます。利用ランキングも表示され、現時点で最もアクセスの多いコンテンツは夏目漱石著「坊ちゃん」で800ヒット、キーワード1位は「犬」の280回です。更なる可能性を秘めた画期的なシステムを、是非お試しください。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館